

令和3年度郊外部再生・活性化特別委員会中間報告書 構成（案）

1 付議事件

都市の成長の基盤を支える魅力と活力ある郊外部のまちづくりに関すること。

2 調査・研究テーマ

新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部について

3 テーマ選定の理由

本市は、住みたい街ランキングで常に上位であるが、それは中心部の話であり、郊外部、特にその住宅地においては、利便性やニーズをどのように捉えて賑わいを創出していくかが、大きな課題となる。

令和2年度、本市においては人口減少こそしなかったが、これは、都市政策や、近年トレンドであった「職住近接」の志向が薄まったこと等による社会増によるものと考えられる。しかし、日本全体では人口は減少しており、本市においても今後人口が減少していくことは確実である。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行等を契機とし、首都圏を中心に新たな生活様式、消費行動、働き方等が生まれており、郊外部は「住むだけの場」に留まらず、「働く場」、「交流する場」など、様々な観点から利活用が見込まれる。

このような潮流の中、今後、本市郊外部の活力を取り戻し、魅力あふれるものとするためには、それぞれの目的に合致した「選ばれる郊外部」へと発展させる必要がある。従来の視点にとらわれず、刻々と変化する郊外部のあり方を調査・研究し、課題解決を図るため、当委員会では、今年度はこのテーマに基づき、本市の取り組みの検証、他都市の取り組みの調査及び有識者からの意見聴取などを実施し、多面的に調査、研究を行うこととした。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和3年6月7日 委員会開催（第1回）

ア 議題

令和3年度の委員会運営方法について

イ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）

(2) 令和3年7月16日 委員会開催（第2回）

ア 議題

調査・研究テーマ「新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部」について

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】 建築局、都市整備局

(ア) 郊外部におけるまちづくりの方向性 (説明概要を記載)

(イ) 郊外住宅地再生等に関する取組 (説明概要を記載)

(ウ) 郊外住宅地等における地域まちづくりの取組 (説明概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(3) 令和3年9月10日 委員会開催 (第3回)

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：株式会社リクルート

S U U M O 編集長 兼 S U U M O リサーチセンター長

池本 洋一 氏

案件名：住みたい街ランキングや全国の事例から見る、選ばれる郊外都市について

(4) 令和3年10月1日 委員会開催 (第4回)

ア 議題

住みたい街ランキングや全国の事例から見る、選ばれる郊外都市について

イ 参考人講演概要 (講演概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(5) 令和3年12月2日 委員会開催 (第5回)

ア 議題

調査・研究テーマ「新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部」について

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】 建築局、都市整備局

(ア) 郊外住宅地における街の魅力を高める取組 (説明概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(6) 令和4年2月8日 委員会開催 (第6回)

本日の概要を記載

(7) 次回委員会 (第7回)

当日の概要を記載

5 新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載